

## 人権尊重教育の年間計画

	月	1年	2年	3年
1 学期	4	学級目標の中に、人権教育のねらいを位置づける。 (互いに認め合う姿勢を重視していく)	学級目標の中に、人権教育のねらいを位置づける。 (協力し、互いに向上しようとする姿勢を重視していく)	学級目標の中に、人権教育のねらいを位置づける。 (互いに認め合う姿勢を重視していく)
	5	運動会の練習を通して、互いに助け合う、励まし合う心を培う。	運動会の練習を通して、互いに助け合い、励まし合う心を培う。	人権問題「女性」社会科(公民的分野)の授業の中で取り上げる。
	6	道徳教科書B-(9)より『「いじり」? 「いじめ」?』を取り上げ、他者の感じ方や考え方の相違に気づかせ、他者を尊重する心を育てる。	道徳教科書C-(18)より「六千人の命のビザ」を取り上げ、国際理解を深める。	・人権問題「障害者」「ハンセン病」社会科(公民的分野)の授業の中で取り上げる。
	7	・人権作文の作成を通して豊かな人権感覚を身に付ける。	・人権作文の作成を通して豊かな人権感覚を身に付ける。	・人権作文の作成を通して豊かな人権感覚を身に付ける。
2 学期	9	道徳教科書B-(8)より「チョコの行方」を取り上げ、付き合うとはどういうことか考える。	身近な生活の中で人権課題をみつけ、考えさせる。互いに話し合うことから、人権感覚を磨く。	人権課題「HIV感染者」保健体育の授業の中で取り上げる。
	10	文化祭、クラス合唱の練習を通して、互いに認め合う姿勢を高める。	文化祭、クラス合唱の練習を通して、互いに認め合う姿勢を高める。	人権課題「外国人」「子ども」社会科(公民的分野)の授業の中で取り上げる。
	11	道徳教科書B-(9)より「自身の障がい」を取り上げ、個性や立場を尊重する心を育てる。	人権問題「アイヌの人々」社会科(歴史的分野)の授業の中で取り上げる。	人権課題「犯罪被害者やその家族」社会科(公民的分野)の授業の中で取り上げる。
	12	教科や講演会を通じて、特別支援学級との交流を深める。	教科や講演会を通じて、特別支援学級との交流を深める。	教科や講演会を通じて、特別支援学級との交流を深める。
3 学期	1	職業理解(職業による差別意識をなくす) 職業調べ学習を通して、正しい職業観を身に付ける。	職業理解(職業による差別意識をなくす) 職場体験を通して、正しい職業観を身に付ける。	進路選択にあたり、互いに励まし合う気持ちを高める。
	2	人権に関する作文を読み合い、人権感覚を培う。	人権問題「同和問題」社会科(歴史的分野)の授業の中で取り上げる。	道徳教科書C-(18)より「あふれる愛」を取り上げ、国や人種を越えて助け合うことの大切さについて考える。
	3	道徳教科書C-(18)より「歴史を変えた決断」を取り上げ、国際理解を深める。	道徳教科書B-(8)より「たすきとポンポン」を取り上げ、学校生活の中での役割と性別との関係性を考える。	道徳教科書C-(11)より「卒業文集最後の二行」を取り上げ、差別解消の主体者としての意識を高める。